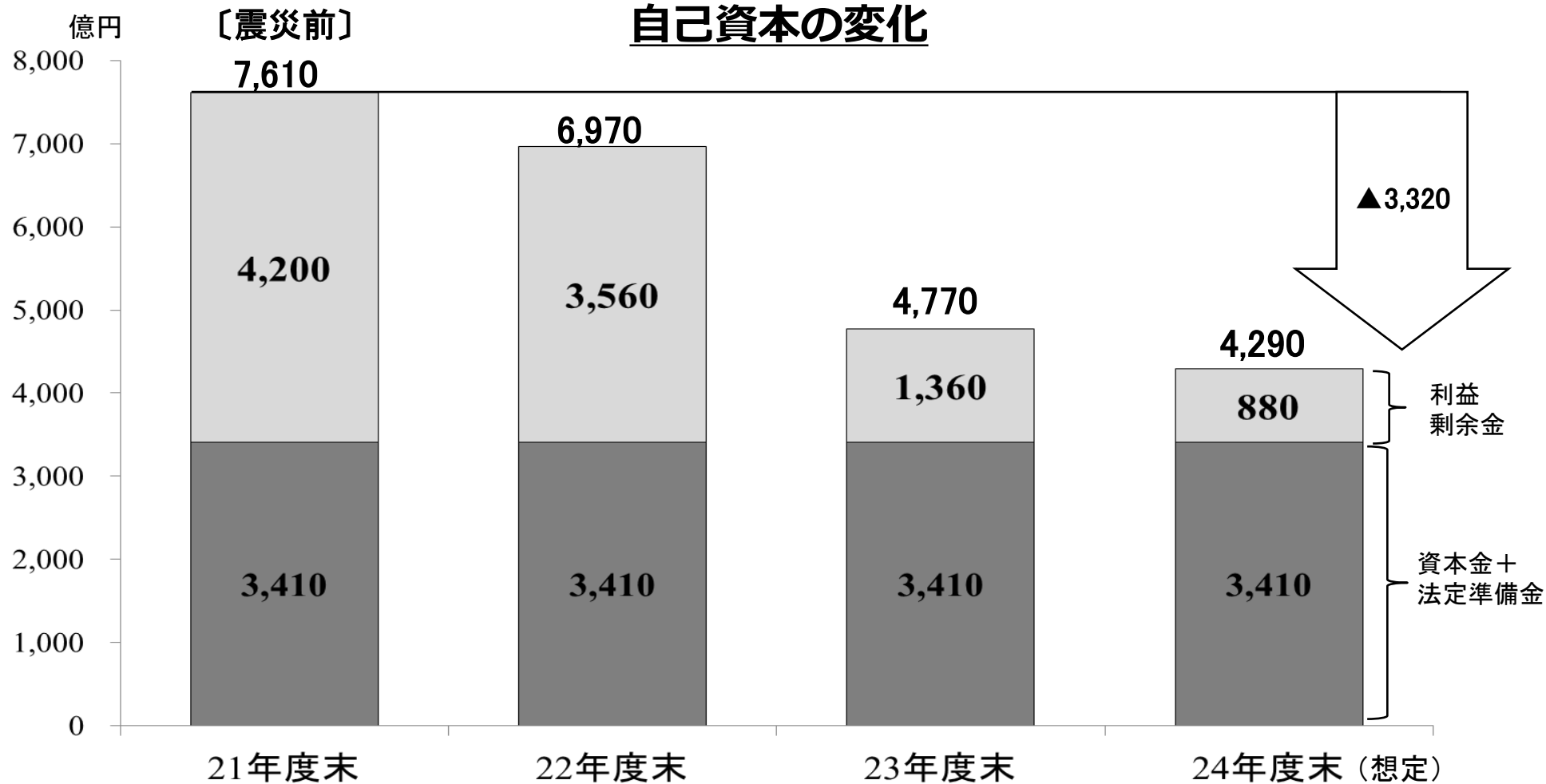


東日本大震災等による財務体質の悪化(単体)

○震災等による特別損失や燃料費の増加などによる純損失の計上で、自己資本は、震災前の水準から大幅に減少しています。震災からわずか2年程度で利益剰余金の約8割(自己資本の約4割)が減少したことになります。

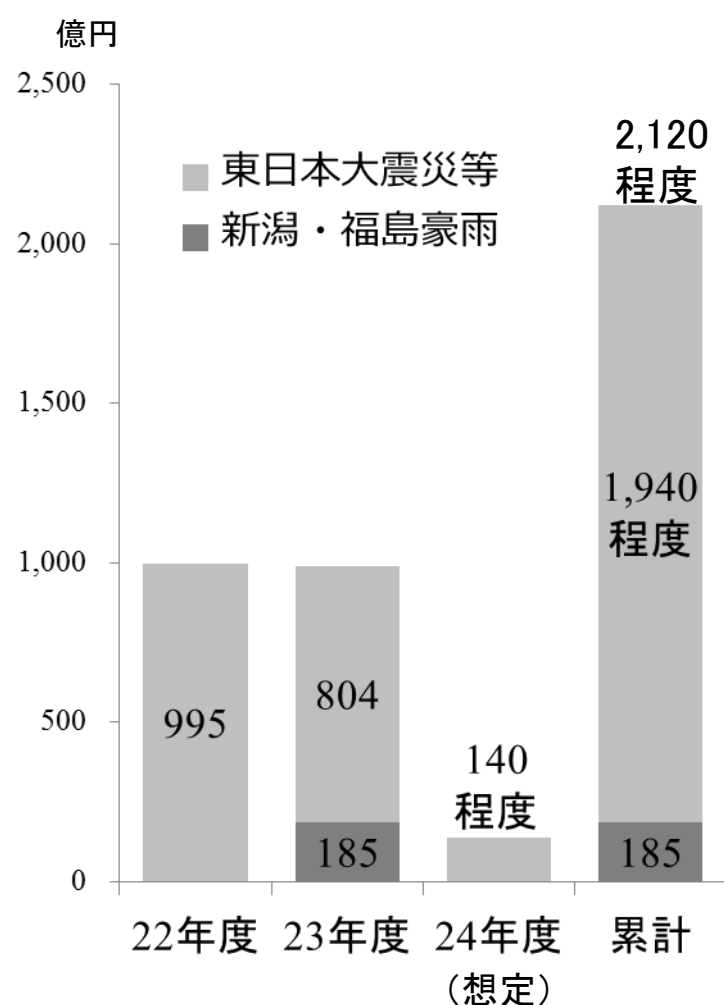
自己資本の変化



当期純損益	201億円	▲331億円	▲2,102億円	▲480億円程度
自己資本比率	21.2%	18.8%	12.3%	11%程度

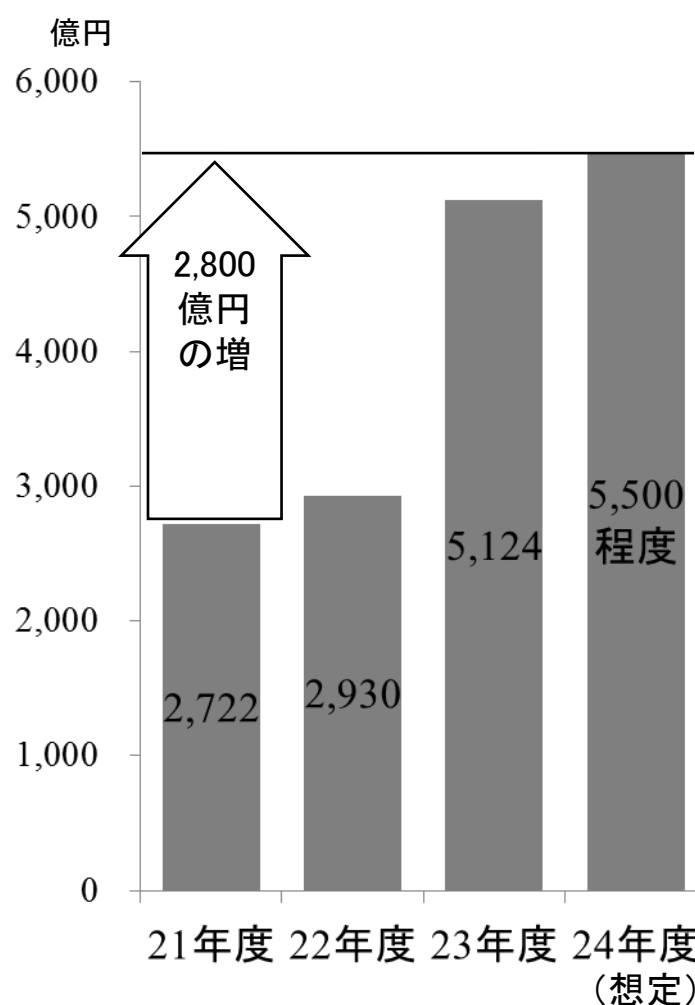
①震災等による特別損失

○東日本大震災に加え、新潟・福島豪雨などの自然災害により、当社の設備も甚大な被害を受けました。(修繕費, 固定資産除却費等)



②燃料費の状況

○原子力の停止等に伴う火力発電所の焚き増しにより、燃料費は大幅に増加しています。



③配当の状況

○22年度期末より減配し、23年度中間期以降、配当を見送っています。

